1型糖尿病の関連図

あつめて完成！
かんごるー図鑑 Vol.06
ポッケは
ナースグッズでパンパン

看護roo! 就活 ▶
シューカツも
看護roo!

社会面

- 体調の変化があっても部活を優先し、深刻に捉えなかった
- 大会が近く、練習が忙しい日々が続く
- 給食のカロリー管理・体育での低血糖対応・修学旅行時のインスリン管理など、学校との連携が必要になる
- 学校生活が生活の中心（給食・体育・部活・行事がある）
- バレーボール部に所属
- 現時点では学校（担任・養護教諭）との情報共有ができていない
- 体調の変化に本人だけでなく家族も捧する機会がある環境だった
- 両親、兄と同居。キーパーソンは母
- 母：「もっと早く気づいてあげられればよかった」と自分を責める
- 母：体調の変化（口渇・多尿・体重減少）に気づけなかった
- #4 退院後、学校生活における自己管理体制（低血糖時の対応など）が整わないまま登校を再開するおそれがある
- 自己注射・自己血糖測定を、まだ自分だけで完結させるには経験が浅い年齢
- 学校生活の中では、まだ大人のサポートが必要な場面がありそう

心理面

- 一生インスリンの注射をしなきゃいけないなんて聞いていない」と強いショックを受ける
- 「部活の大会はどうなるの」「みんなと同じように過ごせるかな」と将来への不安
- #3 疾患についての知識不足・受け止めの難しさから、自己管理の習慣化に時間がかかるおそれがある
- 思春期特有の心理（周りと違うことへの抵抗感、自立と依存の間で揺れる時期）
- 学校で自己注射・血糖測定を友人に見られることへの抵抗感

中心

B氏
14歳 中学2年生 女性

- 平常時 体重 45kg
- GAD 抗体陽性
- 自己免疫により膵β細胞が破壊
- インスリンがほとんど分泌されなくなる（インスリン依存状態）
- 細胞がブドウ糖を取り込めない
- 口渇・多尿・体重減少（1週間で3kg 減）
- 高血糖のまま経過
- 尿に糖が漏れる（尿糖）→ 浸透圧利尿
- 水分摂取が追いつかず脱水が進行
- 循環血液量の減少
- 代償追いつかず →脱水とアシドーシス進行
- #1 脱水とアシドーシスの進行により、意識レベルが低下している状態にある
- JCS II-10
- 血圧低下（98/60mmHg）
- 頻脈（脈拍118回/分）
- 急速輸液
- 今後、血糖が下がりすぎることによる低血糖のリスク
- 血糖値が急上昇 582mg/dL
- Na132mEq/L
- 速効型インスリンの少量持続静注
- 尿ケトン体 強陽性
- ケトン体産生↑
- エネルギー不足を補うため脂肪分解が亢進
- 血液が酸性に傾く（アシドーシス）
- 動脈血 pH 7.18、HCO_3^- 9mEq/L
- K5.6mEq/L
- アシドーシスを代償するための過呼吸・呼気のアセトン臭
- クスマウル呼吸：呼吸数 28回/分
- #2 アシドーシスと治療によりカリウムが変動しやすく、不整脈のおそれがある
- カリウム補正
- インスリン治療でKが細胞内へ移動
- 1型糖尿病の確定
- 糖尿病性ケトアシドーシス：DKA 診断
- 救急搬送・入院
- 母が発見

看護roo!